



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月28日

上場会社名 株式会社テセック 上場取引所 東
コード番号 6337 URL <https://www.tesec.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）田中 賢治
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）戸田 雄介 TEL 042-566-1111
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,632	0.9	191	18.2	304	79.3	214	66.1
2025年3月期中間期	2,607	△39.1	162	△78.7	169	△84.2	129	△82.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 488百万円（－％） 2025年3月期中間期 △129百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	39.55	—
2025年3月期中間期	23.34	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	15,397	13,985	90.8	2,629.92
2025年3月期	15,474	14,165	91.5	2,585.77

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 13,983百万円 2025年3月期 14,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	100.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	△13.4	130	△70.1	310	△54.1	230	△46.2	42.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日（2025年10月28日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2025年11月13日に実施予定の株式給付信託（J-ESOP）への自己株式の割当（150千株）を見込んでおります。このため、期中平均株式数を5,467千株と想定し、1株当たり当期純利益を算定しています。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	5,778,695株	2025年3月期	5,778,695株
2026年3月期中間期	461,542株	2025年3月期	301,142株
2026年3月期中間期	5,424,072株	2025年3月期中間期	5,533,746株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
3. その他	8
受注及び販売の状況	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、地政学的緊張と米中貿易摩擦の長期化を受け、不確実性が高まりました。米国では、高関税政策に伴う物価上昇懸念と雇用環境の弱含みを背景に、利下げが実施されました。欧州では政策金利が据え置かれたものの、外需の不透明感や域内の政治リスクが景気の下押し要因となりました。中国では、政策支援により一定の成長が維持された一方、不動産市場の低迷や過剰生産などの構造的課題が重荷となりました。日本では日米関税交渉の合意が株価上昇要因となりましたが、関税問題への不透明感が残りました。

半導体業界におきましては、生成AI向けのGPU、ASIC、HBM(High Bandwidth Memory)への需要が好調に推移しました。一方で、非AI分野では在庫調整の影響を受け、最終需要が伸び悩みました。当社のテスト分野が対象とするパワー半導体市場では、EV需要の減速に加え、中国メーカーとの競争激化を背景に、日欧米の半導体関連企業による設備投資の抑制や事業の見直しが相次ぎました。

このような環境において、当社は顧客ニーズに応える製品の開発・改良に注力するとともに、パワーデバイス用テストやMAPハンドラ、自重ハンドラなどを軸として、世界各地における展示会への参加、トップセールスを含む積極的な販売活動を展開しました。また、中期計画に掲げる人的資本関連の成長投資として、J-ESOPの制度導入を進めました。(詳細につきましては、本日公表の「株式給付信託(J-ESOP)の導入に伴う株式給付規程の制定及び第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ」をご参照ください。)

以上の結果、受注高は22億35百万円(前年同期比15.1%増)、売上高は26億32百万円(同0.9%増)、受注残高は22億65百万円となりました。製品別売上高は、ハンドラ11億71百万円(同100.3%増)、テスト10億19百万円(同33.9%減)、パーツ等4億41百万円(同8.3%減)となりました。

損益面は、テスト分野における部材高騰の影響が概ね解消したことなどから、営業利益は1億91百万円(前年同期比18.2%増)となりました。また、外貨建て資産負債に係る評価損益がプラスに転じたことなどから、経常利益は3億4百万円(同79.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は2億14百万円(同66.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金やたな卸資産が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、153億97百万円となりました。

負債は、繰延税金負債が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億1百万円増加し、14億11百万円となりました。

純資産は、配当金の支払い、自己株式の取得を実施したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億79百万円減少し、139億85百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①業績予想の修正について

最近の業績動向等を踏まえ、2025年5月13日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。

期初の業績予想において、ハンドラの受注は底打ちを迎える一方、テストについてはダウントrendと想定しましたが、テストの軟調な引合・受注状況を踏まえ、売上高を51億円(修正前は55億円)と予想します。

損益面は、テスト分野における部材高騰の影響が概ね解消したこと、研究開発費が想定を下回る見込みであること、為替水準が想定よりも円安で推移していることなどから、営業利益1億30百万円(変更なし)、経常利益3億10百万円(修正前は1億40百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益2億30百万円(同1億円)を予想します。

当社は、事業環境に多くの不確実性が存在するものと認識しており、海外拠点と連携しつつ、引合・受注動向を継続的に精査しております。米国の高関税政策につきましては、当社の米国向け売上比率が連結売上高の1割未満であることから、現時点で直接的な影響は軽微と見込んでいますが、連結業績予想の修正が必要と判断される場合には、速やかに公表いたします。

なお、当第2四半期(上半期)における米ドルの平均レートは145.9円となりましたが、業績予想における下半期(2025年10月1日～2026年3月31日)の想定レートは145円(下半期の為替感応度は、1円安に対し7百万円程度の営業利益増)としております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

②配当予想について

2025年5月13日に公表しました通期の配当予想(期末配当100円)に変更はありません。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、配当につきましては業績推移等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本方針としております。この基本方針の下、株主の皆様に安心して長期保有いただけるよう、2025～27年度を対象期間とする中期計画「Enjoy2.1」では、DOE(連結株主資本配当率)4%を目安として、業績変動の有無にかかわらず安定的な配当を実施する方針です。

③自社株の取得、活用、消却について

当社は、2022～24年度を対象期間とする中期計画において掲げた株主還元方針（総還元性向35%）のもと、同期間に約20万株の自己株式取得を実施しましたが、潜在的な株式希薄化懸念の払拭を目的として、保有する自己株式のうち20万株を消却いたします。（詳細につきましては、本日公表の「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照ください。）

なお、当期において、169,400株の自己株式を取得する一方、RSおよびJ-ESOPへの活用を目的として159,000株の処分を決議しております。今後も機動的な自己株式の取得や活用、消却を通じ、資本効率の改善と企業価値の持続的な向上を図ってまいります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,352	4,441
受取手形及び売掛金	1,782	1,210
電子記録債権	69	13
有価証券	198	991
製品	131	186
仕掛品	1,840	1,510
原材料	786	658
未収還付法人税等	34	13
未収消費税等	—	7
その他	108	133
貸倒引当金	△4	△8
流動資産合計	9,300	9,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,554	2,416
減価償却累計額	△2,244	△2,104
建物及び構築物(純額)	310	312
機械装置及び運搬具	123	123
減価償却累計額	△114	△116
機械装置及び運搬具(純額)	8	7
工具、器具及び備品	706	714
減価償却累計額	△629	△635
工具、器具及び備品(純額)	76	78
土地	1,440	1,434
建設仮勘定	4	—
有形固定資産合計	1,840	1,832
無形固定資産		
ソフトウェア	11	11
ソフトウェア仮勘定	340	350
技術関連資産	184	160
その他	2	2
無形固定資産合計	539	525
投資その他の資産		
投資有価証券	3,399	3,431
破産更生債権等	—	36
退職給付に係る資産	164	209
繰延税金資産	1	1
保険積立金	208	221
その他	20	14
貸倒引当金	—	△36
投資その他の資産合計	3,794	3,879
固定資産合計	6,174	6,237
資産合計	15,474	15,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	74	99
未払金	86	83
短期借入金	40	—
1年内返済予定の長期借入金	47	44
未払費用	115	114
契約負債	161	159
未払法人税等	41	97
賞与引当金	143	146
製品保証引当金	47	30
修繕引当金	29	28
その他	47	41
流動負債合計	834	846
固定負債		
長期借入金	276	239
退職給付に係る負債	56	48
資産除去債務	10	10
繰延税金負債	129	265
その他	2	1
固定負債合計	475	565
負債合計	1,309	1,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,521	2,521
資本剰余金	3,382	3,379
利益剰余金	7,979	7,810
自己株式	△620	△902
株主資本合計	13,262	12,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	765	1,061
為替換算調整勘定	135	113
その他の包括利益累計額合計	900	1,174
非支配株主持分	1	1
純資産合計	14,165	13,985
負債純資産合計	15,474	15,397

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,607	2,632
売上原価	1,603	1,598
売上総利益	1,004	1,033
販売費及び一般管理費		
販売手数料	32	46
荷造運搬費	16	15
役員報酬	74	83
株式報酬費用	10	9
給料手当及び賞与	202	194
法定福利費	32	31
賞与引当金繰入額	47	45
減価償却費	10	9
研究開発費	147	135
貸倒引当金繰入額	9	41
その他	259	229
販売費及び一般管理費合計	842	841
営業利益	162	191
営業外収益		
受取利息	33	42
受取配当金	20	27
為替差益	—	13
投資有価証券売却益	0	0
有価証券償還益	—	14
その他	5	29
営業外収益合計	60	128
営業外費用		
支払利息	—	2
有価証券償還損	1	—
保険解約損	2	7
為替差損	45	—
支払手数料	2	2
その他	0	2
営業外費用合計	52	15
経常利益	169	304
特別利益		
固定資産売却益	—	3
特別利益合計	—	3
税金等調整前中間純利益	169	307
法人税、住民税及び事業税	39	82
法人税等調整額	1	11
法人税等合計	40	93
中間純利益	129	214
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	129	214

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	129	214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△310	295
為替換算調整勘定	51	△21
その他の包括利益合計	△259	274
中間包括利益	△129	488
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△130	488
非支配株主に係る中間包括利益	0	0

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、半導体検査装置の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注実績

	当第2四半期連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
ハンドラ	587	50.6	1,010	132.0
テスト	466	△15.0	741	△22.9
パーツ等	250	△16.7	483	△11.4
合計	1,304	5.2	2,235	15.1

(注) 金額は販売価格によっております。

(2) 受注残高

	当中間連結会計期間末 (2025年9月30日)	
	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
ハンドラ	835	△23.4
テスト	1,238	△42.8
パーツ等	191	△51.6
合計	2,265	△37.9

(注) 金額は販売価格によっております。

(3) 販売実績

	当第2四半期連結会計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
ハンドラ	718	415.4	1,171	100.3
テスト	594	△34.9	1,019	△33.9
パーツ等	249	△4.1	441	△8.3
合計	1,562	19.0	2,632	0.9

(注) 金額は販売価格によっております。